

令和3年度第2回 東御市文化財保護審議会 会議録

日 時 令和4年3月23日(水)
午後1時53分から3時15分
場 所 中央公民館 学習室4

○主催者(事務局):教育委員会事務局教育部教育課文化財係

○出席者

委 員:寺島隆史会長、児玉卓文副会長、宮下知茂委員、川上美保子委員、
斎藤洋一委員

事務局:教育次長 坂口光枝 教育課長 山邊修、文化財主幹 山内智晴、
文化財専門員 堀田雄二、文化財係主査 小林美和

○欠席者

委 員:なし

○討議内容及び経過

なお、個人情報に係る部分につきましては、公表を控えさせていただきます。

1 開会

2 あいさつ

寺島隆史会長

3 審議

(1) 力士雷電之碑 一部移設について

説明要旨

地元区や雷電生家より佐久間象山先生・書「力士雷電之碑」を雷電生家へ移設し、「天下無双・力士雷電」の偉業を生誕の地である当市から市内外に向けて広く発信することで、伝説を後生にまで繋いでいくチャンスであると捉え、取組の拠点としたいとの要望があった。市としては故郷の宝として多くの市民が雷電について学び、誇りに感じてもらおう機会にしたいと考え、移設を検討したい。

資料の説明

①～③現在石碑が設置されている場所の写真

④移設検討の石碑

⑤石碑の紹介 移設検討

⑥移設予定の雷電生家

・大石区・雷電生家からの移設要望書

質疑・意見

- 会 長 ただいまの説明についてどうでしょう、ご意見等ありますか。
- 委 員 この碑のこれまでの位置づけや碑を動かすことに文化財として問題はないのか。
- 事務局 元々旧碑は今の場所から 150m 東北国街道一里塚あたりにあったものが新碑が出来た後に移設されている。既に移設されている経緯もあることから、かつてここにあったというような表示をすれば特に場所について問題はないと思う。
- 委 員 雷電の石碑でもあるが北国街道の史跡でもある。雷電生家へ移すのは別の話。旧碑と新碑が並んでいるから価値がある。今も昔も大石から北国街道出入口、ちょうどいいところに石碑を作ってある。史跡から移してしまったら価値が半減する。
- 委 員 石碑の字が全く読めない石碑 1 つあっても意味がない。2 つあるから意味がある。何故ここに石碑が建てられたのか、その意味合いが大事。価値が半減してしまう。
- 委 員 生家の所に案内版をたてて回遊することの方が観光につながるのではないか。
- 委 員 大石区・雷電生家からの要望書は拠点として何をするのか、史跡を動かすことの具体的なことがみえてこない。
- 委 員 昭和 4 2 年に 2 つ並んだものを史跡としたのでは。
- 委 員 今の場所から動かすにはよほどの理由がない限り動かせないと思う。北国街道の史跡として回る人も多い。
- 委 員 現状のものを活用することが重要で活用のために動かすのはおかしい。
- 会 長 審議委員会としては移設について反対と言うことでよろしいですね。

委員一同 異議なし

委員 今回の審議会の意見を委員会の会長さんや地元区の方に伝えてもらいたい。

4 報告

(1) 百体観音石造町石 28 番観音について

説明要旨

令和4年3月14日に市民から28番観音が転倒していると連絡があり、令和4年3月15日に新張区より修理したとの連絡があった。写真あり

委員 除雪など関係があるのか、自然に転倒か。

事務局 芯棒がなく下のコンクリートにただはめ込んだだけであり、道路側に倒れていたことから除雪や車の事故等はないと考えられる。自然倒壊または人為的な力が加わったことが原因か。

委員 光背部分の破損は今回の転倒によるものか。

事務局 そのとおりです。

(2) カモシカの滅失届について

3件

1 件目	令和3年10月13日	和地区西入	1 頭
2 件目	令和3年12月21日	北御牧地区畔田	1 頭
3 件目	令和4年3月9日	北御牧地区御牧原	1 頭

委員 前回の議案の報告

文書館に保管されている明治時代の標本が大変貴重であるということから長野県植物研究会誌に掲載。資料は既に配布。

国立特定公園では植物の保護対策として植物指定している（環境省管轄）。追加するのは難しいが、上信越国立公園と黒姫公園が分かれる際に見直しが行われ、〇〇を入れてもらうよう依頼。12月に確認し〇〇が指定植物になる予定。

- 事務局 長野県立歴史館学芸員（丸山晚霞研究者）
アルプス方面のスケッチ類を（1900年前後の絵）市の指定文化財に要望書提出
出
次回の会議の際に学芸員に説明してもらおう。
- 委員 スケッチだけなのか、日記などもあるのか。
- 事務局 絵（スケッチ）のみ。
- 委員 事実としての絵を文化財にするのか、抽象的（イメージ）な絵も含めて文化財とするのか。
- 事務局 今回は山の絵を申請している。次回学芸員に説明していただく。

5 閉会